

令和 7 年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

(藤原辰史 (2018). 「給食の歴史」 岩波書店, 251～257 ページ, 抜粋・一部改変)

問1 下線部①「これらは水と油なのだろうか。私はそうは思わない。」の、「これら」が指し示す内容をそれぞれ整理した上で、「そうは思わない」という筆者の考えを、本文中の言葉を適宜用いて、100字以上、150字以内で説明しなさい。

問2 下線部②「給食の時間には独特の空気がある」とあるが、この「独特の空気」は、学校教育において子どもの生活と学びにどのような意味があると考えますか。あなたの経験をふまえ、300字以上、400字以内で答えなさい。

問3 下線部③「教育にこそ、食を活かさない手はない。」とあるが、あなたなら小学校において、食を活かした教育をどのように構想しますか。本文の内容をふまえた上で、具体例を挙げながら、800字以上、1,000字以内で述べなさい。

令和 7 年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

出 題 の 意 図

教育学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、(1)教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきいたい人、(2)教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人、(3)高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人、(4)沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人を求めている。

この問題の題材は、「給食」という教育活動が有する教育的な意義について述べたものである。問を通じ、学校教育専攻のアドミッション・ポリシーに示された、①教育や子どもに関する知識・理解、②小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力、③小学校教育に対する意欲・関心をみる。